

(10) 対象基準地の前年標準価格等からの検討	①-1対象基準地の検討 ■継続 □新規 前年標準価格 210,000 円／㎡				③ 価格形成要因の変動状況	【一般的要因】	企業収益好調により景気回復傾向にあるが、関税交渉等の海外景気の不透明及び物価上昇により、景気回復テンポは緩やかと思われる。
	①-2基準地が共通地点（代表標準地等と同一地点）である場合の検討 ■代表標準地 □標準地 標準地番号 日野 - 21 公示価格 215,000 円／㎡					【地域要因】	浅川氾濫リスクはあるものの、南平駅に近く、成熟した住宅地であり、住環境は良好であることから、価格は上昇傾向にある。
						【個別的要因】	特にない。
	②変動率	年間	+6.2%	半年間		+3.7%	